

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	スポイラー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：スポイラー**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

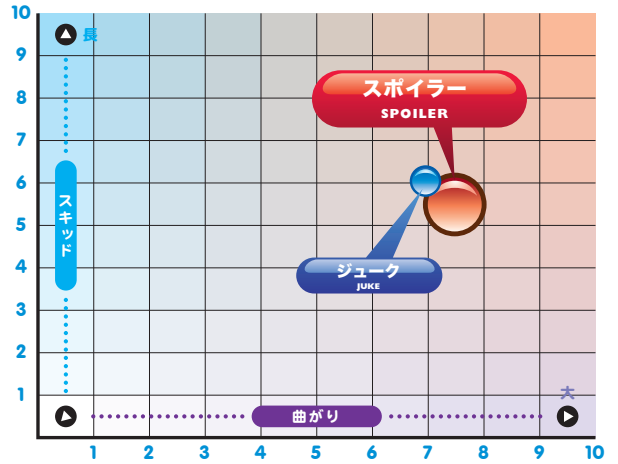
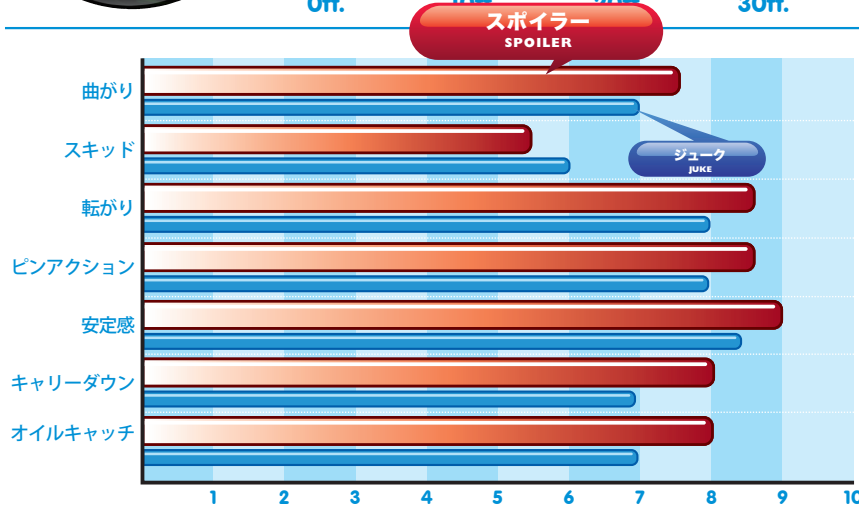
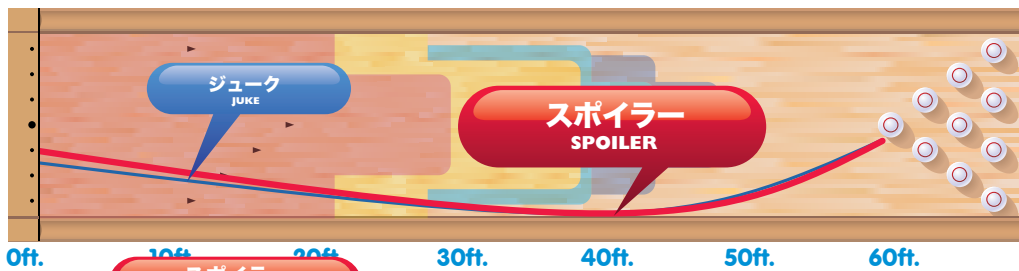
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番

**比較対照ボール：ジューク**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番



### ボールの評価

COLUMBIA社でMP(Mid-Level Performance)で今や代表的なCoverstockと言えばBend-It Solidと言っても良いでしょう。しかも性能はMP領域にとどまらずUMP(Upper Mid Performance)領域でも十二分に使用できるキャッチ系のCoverstockです。そのBend-It Solid CoverstockにNew Coreを組み合わせたのが今回のSPOILERで、Mediumを中心にこれまでのCOLUMBIA社のイメージを変えるほど、アグレッシブな動きが特徴的な性能に仕上がっています。

COLUMBIA社開発スタッフが自信と確信をもって送り出してきたSPOILERの信条はなんといっても先の動きのアグレッシブさでしょう。これまでのCOLUMBIA社の製品はどことなく緩やかに寄るイメージだったり、向きの変わり方が滑らかなのが多かったのですが、新開発のSPOILER Coreの運動性能でしょう。向きの変わり方の大きさが明確に捉えることができます。

このSPOILERは米国発売と日本発売とは表面仕上げが異なります。米国仕様はSand仕上げで山本勲プロが「キャッチと先の動きが融合されたボール」として承認大会やトーナメントに持ち込んでいます。一方日本仕様はMediumポリッシュ加工で、より先での動きを強調させた「やや暴れ感」を出して仕上げられています。比較投球したJUKEとでは、SPOILERの方がキャッチが早く始まり、よりオイルを使って曲がっているのを見て取れます。JUKEではオイルの多い部分に乗ってしまうと滑る傾向が強くなりますが、SPOILERはしっかりとオイルを捉えながら曲がっているのを感じて頂けるはず。SPOILERはSand仕上げでも十分動きが出るため、日本オリジナル表面仕上げで投球していただき、滑り感が強くであれば、表面の光沢を少しずつ消して頂き調節するのが良いでしょう。このボール侮ることなかれ。しっかりと良い仕事をしてくれるボールと感じて頂けるでしょう。

### 特記事項

**COLUMBIA社でかなり奥の動きを強調させたスペック。かなり使用できる幅が広く、表面を加工しても奥の動きを殺さずに使用できるのが特徴です。**